



自然エネルギーは 地域のもの

No. 63

コナン市民
共同発電所



こなんウルトラパワーの新社長に 谷口副市長が就任しました

平成28年5月、市と市内事業者など計8者により設立したこなんウルトラパワー株式会社は、市民共同発電所などから調達した電気を公共施設や民間企業に供給し、電力の地産地消に取り組んでいます。

1月29日に臨時株主総会が開かれ、谷口副市長が新社長に就任しました。官民の連携により、地域新電力事業を核とした地域経済循環を進めていきます。



▲こなんウルトラパワー株式会社出資者

☎地域創生推進課
(地域エネルギー室) (東庁舎)
☎71・2302 ☎72・2000

電力の地産地消の取組が 表彰されました

(一財)新エネルギー財団が主催する平成29年度新エネ大賞において、コナン市民共同発電所プロジェクトとこなんウルトラパワー、市の連携による再生可能エネルギーの普及活動が、新エネルギー財団会長賞(普及啓発活動部門)を受賞しました。



コナン市民 共同発電所

12月の 発電結果

・初号機(バンバン発電所/設備容量20.8kW)

発電量 **1,687** kWh(一般家庭約5軒分)

売電額 **72,878** 円

・式号機(甲陸発電所/設備容量105.6kW)

発電量 **6,433** kWh(一般家庭約21軒分)

売電額 **278,337** 円

・参考機(十二坊温泉ゆらら発電所/設備容量16.3kW)

発電量 **1,050** kWh(一般家庭約3軒分)

売電額 **36,288** 円

・四号機(柑子袋まちづくりセンター発電所/設備容量23.6kW)

発電量 **1,855** kWh(一般家庭約6軒分)

売電額 **64,108** 円

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

一人ひとりが輝くために、共に学び、共に育つ

～湖南省インクルーシブ教育～

市では、どの子どもわかる喜び、できた喜びを味わえる教育をめざしてインクルーシブ教育の取組を進めています。

子どもの可能性は周囲の人の理解や手助け、社会の仕組みによってぐんと広がります。障がいのあるなしにかかわらず「共に学び、共に育つ」「すべての人がこぼれ落ちることのない社会を」それこそがインクルーシブ教育のめざすところです。

そのために、障がいがある、または学びにくさのある子どもたちが授業に参加しやすい工夫や、持っている力を発揮しやすくなるための合理的

配慮を学校生活や授業の中でおこないます。「説明や指示はわかりやすいことばで伝える」などがその例です。市ではその人に必要な合理的配慮を提供し、持てる力を発揮することで、一人ひとりの自尊感情を育み、自分も自分以外の人のことも大切にできる子どもを育てていきます。

※インクルーシブ教育とは…発達支援の必要な子どもが十分な教育を受けるためのシステムです。

☎学校教育課(西庁舎) ☎77・7011 ☎77・4101